

# 第153期 株主通信

(2021年4月1日から2021年9月30日まで)



表紙写真：SDGsトレイン『美しい時代へ号』

## 株主通信「美とき」に込めた想い

東急グループは、グループスローガンとして「美しい時代へ」を掲げています。このスローガンには、東急グループが美しい生活環境を創る先駆者になる決意が込められています。

本誌のタイトル「美とき」は、「美しい時代へ」の「美」と「とき(時)」を組み合わせ名付けました。私たちが「美しい」生活環境の創造へと向かう姿を「これまで・いま・これから」それぞれの「とき(時)」から紐とき、株主の皆さまへお伝えしたいという想いが込められています。

K

I

## ごあいさつ

### 株主の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に罹患された方々や、困難な状況におられる皆さまの一日も早いご回復と、事態の収束を心よりお祈り申し上げます。

昨年来続く新型コロナウイルスの感染拡大により、移動や経済活動が制限されておりましたが、10月には緊急事態宣言が解除されるなど、徐々にではありますが人々の暮らしは落ち着きを取り戻しつつあります。しかしながら、その生活様式はコロナ禍以前とは変容し、当社を取り巻く事業環境も大きく変化しました。

足元の業績ですが、昨年と比較すると回復傾向にはありますが、鉄道輸送人員はコロナ禍前と比較し7割程度の回復にとどまり、百貨店、ホテルについても一部店舗休業や営業時間短縮、外出自粛などの影響を受けるなど、依然厳しい状況が続きました。一方で、不動産物件の売却などがあり、5月に公表した業績見通しは概ね達成する見込みです。

ワクチン接種が進んでいる状況ではありますが、変異株の存在など、いまだ安心できる状況には至っていません。コロナ禍が収束しても、以前のようにお客さまが戻ってくるというわけではないと考えています。強い危機感を持ちながら足元の事業環境変化への対応と徹底した構造改革を実行

東急株式会社  
取締役社長

高橋 和夫

Kazuo Takahashi



し、中期経営計画に掲げた今年度の黒字化を実現するだけでなく、新たな成長軌道に乗せることができるよう注力してまいります。

### 事業環境変化に対応した重点戦略の進捗状況

鉄道事業では、固定費削減に向けデジタルテクノロジーを活用した鉄道保守業務の効率化に取り組んでいます。また、東急新横浜線の開通に向けた整備など、さらなるお客さまの利便性向上に向けた投資もしっかりと継続していきます。

都市開発事業においては、これまで主流だった、郊外に居住し鉄道を利用して都心へ通勤するというライフスタイルに加え、居住地域の近くに「職住遊」の機能が備わった「自律分散型都市構造」の考えに基づき沿線を開発することで、

多様な価値観やライフスタイルにも応えていきたいと考えています。例えば、ドレッセタワー武蔵小杉では、テレワーク（在宅勤務）スペースや住民同士のコミュニケーションが図れるスペースを設置することを予定しています。なお、本物件は日本初となる実質再生可能エネルギー100%利用のマンションとして脱炭素社会の実現というテーマにも配慮しています。また、新宿で開発を進めている「東急歌舞伎町タワー」については、ホテルとエンタテインメントの複合施設という特性を持たせるなど、新たなニーズに対応した観光拠点を創り上げるべく計画を進めています。

生活サービス事業における百貨店事業では、売り上げ減少に歯止めがかからない中、成長分野の一つとして注力する渋谷エリアに、東横のれん街や東急フードショーなどによる「食の一大マーケット」を展開しました（詳細は次ページをご覧ください）。一方、そうした成長分野への人員の配置転換など、収入に見合ったコスト構造にすべく改革を推進しています。

ホテル事業では、客室のオフィス利用や長期滞在プランの新設など、新たなニーズに対応した取り組みと徹底したコスト削減を進め、損益構造の改善を図っています。業績は徐々に回復しているものの、2021年度も遺憾ながら赤字の見通しとなっています。2022年度以降の黒字化を目指します。

### デジタルテクノロジーの活用

生活様式の変化によりデジタルテクノロジーの普及、発展が急速に進んでいます。従来、当社グループの特徴であったリアルでの顧客接点に加え、デジタル技術を当社事業に積極的に活用することで潜在ニーズを取り込み、お客さまにとってより豊かで便利なまちづくりを目指します。本年10月には、各事業分野におけるサービス提供のデジタル化を一元的に進める専門部署「デジタルプラットフォーム」を新設しました。今後、当社事業を大きく後押しする存在になることを確信しています。

### 創立100周年に向けて

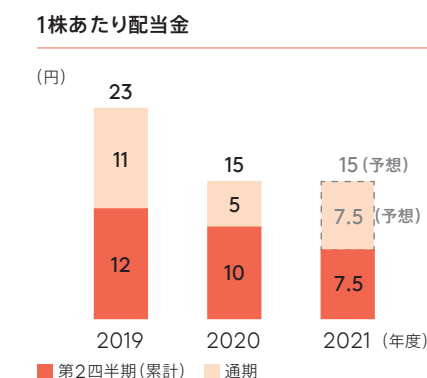
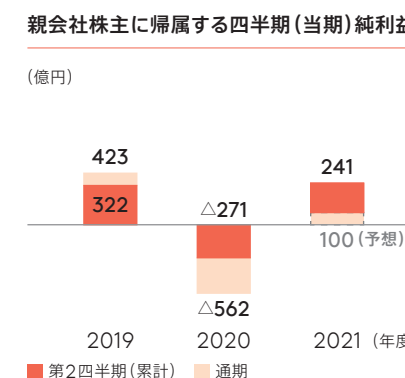
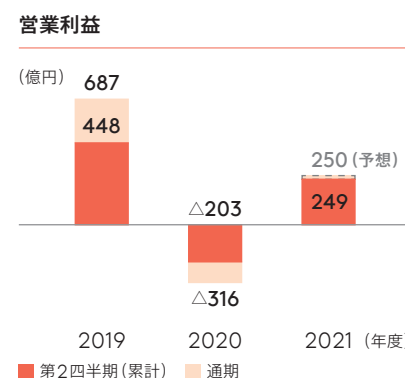
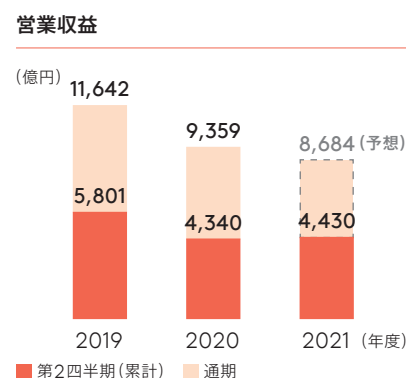
当社は、来年2022年9月2日に創立100周年を迎えます。創業以来、まちづくりを中心に事業を通じた社会課題の解決に取り組んできました。ここには、創業者である五島慶太による「お客さまの利便性を追求する」という考え方が100年間脈々と受け継がれ、今日の東急沿線のまちづくりへとつながっています。これからも、株主さまをはじめとするあらゆるステークホルダーから寄せていただいている「信頼」に真摯に応え、歩を進めていきたいと考えています。

今後とも、当社へのご支援とご理解を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

### 業績ハイライト

当第2四半期は、前年と比較して外出自粛傾向が弱まったことや不動産事業における物件の売却などにより、営業収益は4,430億円（前年同期比2.1%増）、営業利益は249億円（前年同期は203億円の営業損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は241億円となりました。

株主・投資家の皆さまへ  
<https://www.tokyu.co.jp/ir/investors.html>



※2019年度中間配当金には、1株あたり2円の記念配当を含んでおります

## 特集 東急のこれから 「100年に1度」ともいわれる渋谷駅周辺の再開発

SHIBUYA HIKARIE

SHIBUYA STREAM

SHIBUYA SCRAMBLE SQUARE



東急グループは「エンタテインメントシティSHIBUYA」の実現を目指し、駅周辺において大規模な開発プロジェクトを関係者と協力して推進しています。2012年にミュージカル劇場を備えた『渋谷ヒカリエ』、2018年には渋谷川の遊歩道整備を行った『渋谷ストリーム』、2019年には日本最大級の屋外展望施設を備えた『渋谷スクランブルスクエア』を開業させました。

# 渋谷の「食」を支える「食の一大マーケット」が完成

1 東急フードショーエッジ 2 東横のれん街 3 渋谷 東急フードショー

東急グループにおける開発の最重要拠点である渋谷は、街のにぎわいを創出し文化を発信し続けることで、ビジネスをはじめ映画やファッションなどさまざまなエンタテインメントが集積する街へと進化を遂げています。今回は、そんな変わりゆく渋谷に完成した「食の一大マーケット」についてご紹介いたします。

## 渋谷の食を支える「食の一大マーケット」3拠点が完成しました!



渋谷駅東西に異なる個性を持つ大型食品売り場(約240店舗)



1 東急フードショーエッジ



2 東横のれん街



3 渋谷 東急フードショー

東急百貨店東横店で営業していた日本初の名店街「東横のれん街」や、デバ地下ブームの火付け役となった「東急フードショー」など、「食」は長年にわたり、渋谷という街の大きな魅力の一つでした。渋谷再開発事業の進行に伴い、2020年3月に東急百貨店東横店は営業終了しましたが、1 渋谷スクランブルスクエア東棟の「東急フードショーエッジ」(2019年開業)、2 渋谷ヒカリエ ShinQs内に移設した「東横のれん街」(2020年開業)、本年7月の3 「渋谷 東急フードショー」のグランドオープンにより、渋谷駅の東西にわたり3つの大型食品売り場がそろそろ、「食の一大マーケット」が完成しました。

渋谷を訪れる人々の食を支えることはもちろん、「エンタテインメントシティSHIBUYA」を目指し、これからも渋谷から「食」の魅力を発信していきます。

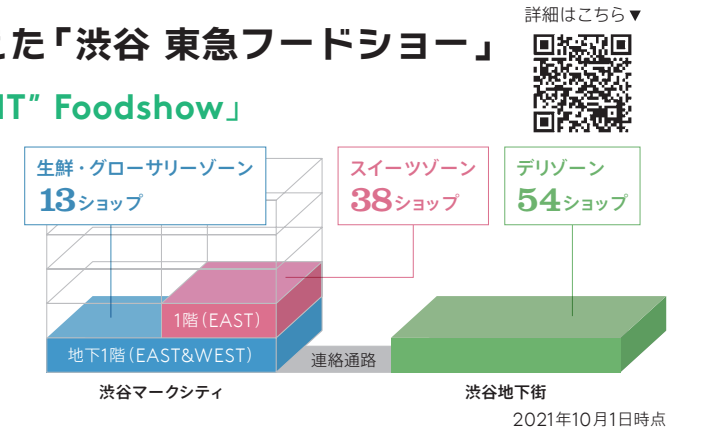
## PICK UP! 7月にグランドオープンを迎えた「渋谷 東急フードショー」

### コンセプトは「SHIBUYA “ENTERTAINMENT” Foodshow」

商業施設初出店や「ここでしか買えない」ONLYショップなど、個性あふれるショップが一堂に集まりました。「スイーツゾーン(渋谷マークシティ1階)」「デリゾーン(渋谷地下街)」「生鮮・グロサリーゾーン(渋谷マークシティ地下1階)」の3ゾーンで構成され、店内を歩くことで「新たな発見」と「街歩きの楽しさ」を味わうことができます。

### 品ぞろえのテーマは「渋谷ローカライズ」

渋谷駅乗降客をはじめ、渋谷近隣や渋谷駅に乗り入れる各路線沿線に住まう方々、渋谷に集うオフィスワーカーなど、渋谷に親和性が高い人々のニーズに合わせた商品をそろえています。日々の台所需要からご褒美スイーツまで幅広く展開し、渋谷を歩き交う人々の暮らしに根付き、日常使いされる店舗“MY STORE”を目指します。



改装前



改装後

Twitterでも最新情報をお知らせしています [渋谷 東急フードショー @TOKYU\\_DEPT\\_ty](https://twitter.com/TOKYU_DEPT_ty)

### COMMENT

「渋谷 東急フードショー」のオープン日には、約8万人のお客さまにご来店いただき、皆さまからの期待の高さを感じております。経験したことのないコロナ禍での開業は、通常時とは異なる対応が必要となり、中でも出店交渉は日々状況が変化し苦労しましたが、今後の渋谷開発や渋谷 東急フードショーに対する高い評価・期待から出店を決めていただく取引先さまもあり、無事オープンを迎えることができました。

今回のグランドオープンでは、東急沿線の人気ショップ、首都圏の美味しいお店を集め、新たな食の集積を図りました。「東急沿線エリアに寄り添ったフードフロアを作りたい」という我々の想いが込められています。渋谷 東急フードショーをご利用いただくことで、お客さまの食生活が便利に、そしてより豊かになるよう、今後も一生懸命取り組んでまいります。これからの渋谷 東急フードショーにぜひご期待ください。



株東急百貨店  
食品統括部 第一食品部長  
藪崎 崇

美しい時代へ

## 東急のサステナビリティ 第2回

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

東急グループは、グループ丸となってコンプライアンスに取り組むとともに、事業を通じた社会課題の解決や社会貢献活動を継続するなど、サステナブル経営を積極的に推進しています。本コーナーでは、東急グループが定める6つの「サステナブル重要テーマ」を実現するための取り組みをご紹介します。

※『サステナブル重要テーマ』の詳細は当社の統合報告書をご覧ください



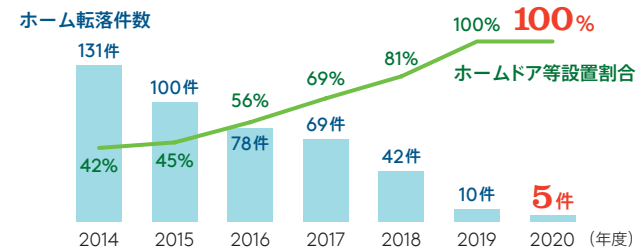
## サステナブル重要テーマ 安全・安心



### ホーム上、車内における取り組み

2020年3月、東急線全駅(世田谷線・こどもの国線を除く)において、大手民鉄で初めてホームドア・センサー付固定式ホーム柵の設置100%を達成しました。設置にあたっては、夜間に回送列車にホームドアを積み込んでの一括運搬など、早期設置に向けたさまざまな工夫を重ねながら作業を進めてきました。ホームドア・センサー付固定式ホーム柵の設置により、下のグラフの通りホーム転落件数は激減しております。その他HP、東急線アプリ上で各駅のホームと車両の乗降口の段差・隙間情報を公開する等、引き続きお客さまに安全・安心に駅をご利用いただけるような取り組みを進めてまいります。

### ホーム転落件数▲96% (131→5件)



### 鉄道保守業務のDXおよび高度化

本年9月に、高速道路などで利用されている道路維持管理システム「インフラドクター®」を鉄道での利用に応用した鉄道保守新技術を導入しました。現地での人による検査や計測が機械計測に代替され、平面に加えて奥行きを表現する3次元点群データや高解像度カメラの解析により、トンネル各部位の浮きや剥離などの要注意箇所を効率的に抽出することが可能になります。また、本年12月からはローカル5Gを活用した線路の異常検知、運転支援業務の高度化に関する実証実験も実施します。今後もDXを活用しながら安全・安心な鉄道事業を追求していきます。

### 作業時間▲30%を目指す



▲計測車両



## 沿線のこれから

「選ばれる沿線」であり続けるために沿線活性化に努め、次世代へつなげるまちづくりを推進しています。

TY

### 東横線学芸大学駅高架下の商業施設「学大市場」リニューアルオープン

2012年に「GAKUDAI KOUKASHITA」の1ブロックとして誕生した東横線学芸大学駅高架下の商業施設「学大市場」を、7月にリニューアルオープンしました。本施設は「食」を中心に据え、これまでの物販店の集積から、シェアキッチン、飲食店、イベントスペースなどが加わり多機能型の施設へと生まれ変わりました。新たに7区画5店舗が出店し、買い回りだけではなく滞在・体験・交流できる施設として、いつ来ても楽しめる、地域とのリアルな接点をつくり、人・街・暮らしをつなげるプラットフォームを目指します。



▲内観イメージ

TY

### 日本初! 実質再生可能エネルギー100%利用の分譲タワーマンション「ドレッセタワー武蔵小杉」着工

全住戸・共用部の電力を実質再生可能エネルギー100%で賄う分譲タワーマンション「ドレッセタワー武蔵小杉」を本年6月に着工しました。“ひとつ先を住まう”をコンセプトに掲げ、脱炭素社会への貢献、新しい働き方・暮らし方への対応、スマートホームや顔認証などデジタル技術の導入など、次世代のライフスタイルに対応した住宅提供を目指します。分譲タワーマンションにおける実質再生可能エネルギー100%利用は、日本初の取り組みです。竣工は2024年5月を予定しています。



▲外観イメージ

## GLOBAL TOPICS

ベトナムにて「SORA gardens II」が竣工

当社は、2012年よりベトナムのビンズン省におけるまちづくりに着手しています。約10年間で、およそ1,800戸の住宅の供給、商業施設や利便施設、路線バス等の環境整備を実施してきました。将来的には定住人口約12.5万人を目指し、現在もさまざまな開発プロジェクトを推進しています。

2019年より三菱地所レジデンス(株)と協働で進めてきたマンションプロジェクト「SORA gardens II」は、子育て世帯向けの充実した共用施設や、ビンズン省では初となる「全戸へのスマートホームシステム(携帯から遠隔で玄関扉や家電の操作が可能)」を導入しております。地上24階建て総戸数557戸の分譲マンションで、ベトナム人富裕層および外国人のお客さまを中心にすでに約9割が成約済みです(2021年9月末時点)。日本および各国での豊富な経験、ノウハウを活かして、今後もベトナムでの開発を推進していきます。



2021  
7 「サステナブルな地下駅」を目指す  
田園都市線5駅リニューアルプロジェクト  
「Green UNDER GROUND」がスタート

脱炭素・循環型社会の貢献および地域に開かれた地下駅を目指し、田園都市線地下区間5駅(池尻大橋駅・三軒茶屋駅・駒沢大学駅・桜新町駅・用賀駅)のリニューアルプロジェクトを開始しました。本年7月に着工した駒沢大学駅のリニューアルでは、床材などの既存材を最大限活かした計画とし、廃棄物削減に取り組むほか、駅設備・内外装の改修やバリアフリーの一層の拡充を図ります。



▲駒沢大学駅リニューアルイメージ



詳細はこちら▼

2021  
10 大手民鉄初! 東急線沿線を中心とした  
「有料老人ホーム紹介サービス-住まいる-」開始

これまで東急ウェルネス(株)は10年以上にわたり高齢者施設を運営してまいりました。そのノウハウを活かし、他社高齢者施設への入居を検討されるお客さまに対し、東急ウェルネス(株)のコンサルタントが、お客さまに寄り添った立場で東急線沿線に約200施設ある他社運営の高齢者施設のご紹介を無料で行います。



詳細はこちら▼

2021  
11 定額制回遊型住み替えサービス「TsugiTsugi」  
先行体験を経て、第2弾の募集をスタート

多様化するライフスタイルや暮らし方に適応する新しい生活体験の提供を目指し、好きな時に好きな場所での自由な暮らしを実現する「TsugiTsugi」の先行体験を、(株)東急ホテルズ、(株)東急シェアリングと連携し、2021年4月末より約2か月間実施しました。先行体験にて、本サービスの需要やユーザーの属性、課題等についての検証を行いました。この結果をもとに改善を行い、第2弾となる利用者の募集を開始いたしました。本サービスの詳細、第2弾利用者募集につきましては、右上の二次元バーコードよりご確認ください。



詳細はこちら▼

2021  
8 阪急×阪神×東急が協働  
特別企画列車「SDGsトレイン」の運行を1年延長

SDGsに関する多様なメッセージを発信する特別企画列車「SDGsトレイン」を、国や自治体・企業・市民団体等と連携して1年間の予定で運行してきましたが、皆さまからのご好評によりその期間を2022年9月上旬(予定)まで1年延長することになりました。今後も、持続可能な未来の創造に貢献できるようさまざまな取り組みを推進してまいります。



▲東急電鉄(株)「美しい時代へ号」



詳細はこちら▼

2021  
11 「PLAY! PARK ERIC CARLE」  
二子玉川ライズ S.C. にオープン

絵本「はらぺこあおむし」の作者「エリック・カール」の絵本の世界観に基づいてデザインされた国内初のインドアプレイグラウンド施設です。迷路やアスレチック、さまざまなワークショップなど、エリック・カールのアートや言葉があしらわれた、子どものみならず大人も楽しめるさまざまなブースを歩き来しながら、遊びの中から学びを得ることができる施設です。



TM & © 2021 Penguin Random House LLC. All rights reserved.



詳細はこちら▼

株主優待情報

発行基準日：9月30日  
11月中旬送付  
有効期限：翌年5月31日まで

発行基準日：3月31日  
5月中旬送付  
有効期限：11月30日まで

200株以上ご所有の株主の皆さまには、ご所有株式数に応じ、東急線または東急バスにご乗車いただける**株主優待乗車証**や、東急グループ各施設でお買い物・ご宿泊などにご利用いただける**株主ご優待券**をお送りしております。

所有株式数	株主優待乗車証(きっぷ式)	選択式優待*1		株主ご優待券
		株主優待乗車証(バス券式)	東急ホテルズ無料宿泊券	
200株以上 500株未満	2枚	—	—	A
500株以上 1,500株未満	5枚	—	—	B
1,500株以上 2,500株未満	10枚	継続保有で5枚追加	—	
2,500株以上 5,000株未満	20枚		—	
5,000株以上 9,500株未満	40枚	—	—	
9,500株以上 12,000株未満	80枚	継続保有で10枚追加	—	電車 全線パス1枚 もしくは 東急ホテルズ*2 無料宿泊券1枚
12,000株以上 14,000株未満	10枚		—	
14,000株以上 28,500株未満	30枚		—	
28,500株以上	30枚	—	電車・バス 全線パス1枚 もしくは 東急ホテルズ*3 無料宿泊券1枚	

\*1 選択式優待(宿泊券)をご希望の方は、三井住友信託銀行株式会社 証券代行部までお電話でお申し込みください。0120-782-031(平日9:00~17:00)

\*2 エクセルホテル東急・東急REIホテル ブランドでご利用いただけます。(ツインルーム1泊+朝食)

\*3 東急ホテル・エクセルホテル東急・東急REIホテル ブランドでご利用いただけます。(ツインルーム1泊+朝食)

株主ご優待券利用店舗のご紹介 (A 200株以上500株未満、B 500株以上)

東急百貨店 お買い物 10%割引券	東急ストア お買い物 50円券	東急ホテルズ 宿泊基本料金 30%割引券	東急ホテルズ 飲食代金 10%割引券	東急病院 人間ドック基本料金 10%割引券	Bunkamura ザ・ミュージアム 五島美術館 共通招待券
A 5枚 B 10枚	A 20枚 B 40枚	A 4枚 B 8枚	A 2枚 B 4枚	B 1枚	B 4枚

各種制度(継続保有制度、選択式優待制度、家族合算優待制度)、優待についての詳細は右記Webサイトよりご確認ください。

株主優待情報  
https://www.tokyu.co.jp/ir/stock\_bond/complimentary.html▶



## 株主さま特別プレゼントキャンペーンのご案内

合計**50組100名**様に!!

アンケートにご回答くださった方の中から抽選で、A賞・B賞いずれかのご招待券を**プレゼント!**



**A賞** セルリアンタワー東急ホテル  
ガーデンラウンジ「坐忘」アフタヌーンティー  
**25組 50名**様 (有効期限: 2022年6月末)



**B賞** 横濱中華街 旅グルメきっぷ  
**25組 50名**様 (有効期限: 2022年3月末)

**A賞・B賞いずれか1つのプレゼントを選んでご応募ください。**(有効期限が異なりますので、確認のうえご応募ください)

応募締め切り: **2021年12月15日** (水) (はがきの場合は同日消印有効)

当選結果のご案内: 当選者さまへのプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。(2022年1月上旬頃発送予定)  
(当選者さまにお送りするチケットに関しまして、期限延長等は予定しておりません。あらかじめご了承ください)

### 応募方法

#### Webサイト



右記URLまたは二次元バーコードからご応募ください。

当社ホームページのトップページからは以下のようにアクセスいただけます。

東急HOME > 株主・投資家の皆さまへ > 株主の皆さまへ > (お知らせ) 株主さま特別イベントのご案内

株主イベント・キャンペーン 応募Webサイト  
<https://www.tokyu.co.jp/kabunushievent/index.html>



#### はがき



はがきに右の事項をすべてご記入のうえ、ご応募ください。

- 株主さま氏名(ふりがな) ・性別 ・年齢 ・郵便番号 ・住所 ・電話番号
- 株主番号(同封の配当金計算書の右上に印字されています) ・希望するプレゼントの種類

はがき応募の方は、下記アンケートにもお答えください。

現在お渡ししている「株主優待」について、ご意見をお聞かせください。

- 1-1. 現在お配りしている株主優待券(紙タイプ)は使いやすいですか。(右の選択肢より番号を選びご記入ください)
- 1-2. 1-1の回答を選択した理由を教えてください。(自由回答)
- 1-3. 株主優待券をスマートフォンで表示させるだけで使用できるようになると便利だと感じますか。(PayPay、二次元バーコード決済等のイメージに近いです。)(右の選択肢より番号を選びご記入ください)
- 1-4. 1-3の回答を選択した理由を教えてください。(自由回答)
- 2-1. 今後、株主通信でこんなキャンペーン、イベントを実施してほしいというご希望があれば教えてください。(イベントで行ってみたい当社施設、プレゼントで欲しい招待券やグッズ等)

#### 【回答選択肢】

- ①使いやすい、便利である
- ②どちらかと言えば使いやすい、便利である
- ③どちらでもない
- ④どちらかと言えば使いにくい、不便である
- ⑤使いにくい、不便である

- 送付先 〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘1-8-1 CO-NIWAたまプラザ B棟 2F 東急株式会社 セラン事務局 株主さま特別イベント受付係
- お問い合わせ先 総務グループ 文書株式担当 電話: 03-3477-6228(平日 9:30~12:30/13:30~17:00)

- ご注意
  - お申し込みは、お一人さまにつき1回限りです。
  - ご応募に際していただいた情報は、必要な範囲でのみ利用いたします。
  - 応募多数の場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。
  - 複数ご応募された場合、応募を無効とさせていただきます。

## 会社情報

### 会社概要

商号 (英文名)	東急株式会社 TOKYU CORPORATION
設立年月日	1922年9月2日
本店所在地	〒150-8511 東京都渋谷区南平台町5番6号
事業内容	交通事業・不動産事業・他

### 役員一覧 (2021年12月1日現在)

代表取締役会長	野本 弘文
代表取締役社長 社長執行役員	高橋 和夫
代表取締役 副社長執行役員	巴 政雄
取締役 専務執行役員	星野 俊幸
取締役 常務執行役員	藤原 裕久
取締役 常務執行役員	高橋 俊之
取締役 常務執行役員	濱名 節
取締役	金指 潔
取締役	渡邊 功
取締役	小長 啓一
取締役	蟹瀬 令子
取締役	宮崎 緑
取締役	島田 邦雄
取締役	清水 博
監査役	島本 武彦
監査役	秋元 直久
監査役	石原 邦夫
監査役	露木 繁夫

企業情報  
<https://www.tokyu.co.jp/company/>



株主・投資家の皆さまへ  
<https://www.tokyu.co.jp/ir/investors.html>



### 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権: 毎年3月31日 期末配当: 毎年3月31日 中間配当: 毎年9月30日
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告により行う <a href="https://www.tokyu.co.jp/koukoku/index.html">https://www.tokyu.co.jp/koukoku/index.html</a>

### 株式に関するお問い合わせ先

(住所・姓名などの変更、配当金の受取方法・振込先の変更、単元未済株式の買取・買増の請求など)

【証券会社に口座を開設されている株主さま】  
口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。

【証券会社に口座を開設されていない株主さま】(特別口座の株主さま)  
連絡先: 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

**0120-782-031**

(フリーダイヤル・平日9:00~17:00)

URL: <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

### 東急グループのサービスに関するお問い合わせ先

東急グループお客さまご案内窓口  
東急お客さまセンター

TEL: **03-3477-0109**

(平日 9:00~17:00/土日祝 9:00~17:00)

\*年末年始などを除きます



# TOKYU 100 Years time train

## 第2回 渋沢栄一翁と田園都市株式会社



渋沢 栄一 (1840-1931年)

### Profile

近代国家として生まれ変わろうとしていた日本に西洋流の考え方を導入し、約500社の企業、約600団体の教育・社会事業の設立に尽力。現代の社会・経済の基盤づくりに大きな功績を残したことから「日本資本主義の父」と呼ばれている。

当社は来る2022年9月、創立100周年を迎えます。  
時間旅行の列車に乗って、当社のこれまでの歩みを見て行きましょう。

東急グループの歴史は、1918年、渋沢栄一翁による田園都市株式会社の設立に始まります。



田園調布住宅地 航空写真 (撮影：1932年)

明治、大正時代を代表する実業家であった渋沢栄一翁は、当時の都心の過密化を憂い、郊外に理想的住宅地の建設を構想しました。実業界引退後は、余生を公共事業のためにささげると決心し、英国レッチワースをはじめとする欧米諸都市のような自然と都市の長所を併せ持つ理想のまち“田園都市”への想いを膨らませます。そして、1918年、栄一翁は東急グループの源流となる「田園都市株式会社」を立ち上げました。住宅地開発に都市インフラ整備を盛り込んだ田園都市計画の立案と同時に、事業用地の買収に取りかかります。

1922年には、第1期分譲として洗足地区の土地を販売開始しました。この時すでに鉄道の敷設工事に着手していたことから人気を集め、販売は好調なすべり出しをみせました。そして同年9月2日、田園都市株式会社の鉄道部門が分離独立し、当社の前身となる「目黒蒲田電鉄株式会社」が設立されます。その後、田園都市株式会社は目黒蒲田電鉄株式会社に吸収され、“鉄道を基盤としたまちづくり”の会社へと進化を遂げます。こうして栄一翁の想いを受け継いだ東急株式会社は、来年2022年に創立100周年を迎えます。100年続く“まちづくりのDNA”は、現在、そしてこれからも受け継がれていきます。



田園都市株式会社本社 洗足 (撮影：1923年)

美しい時代へ—東急グループ

# 100<sup>th</sup>

### 次号より、創立100周年イヤーに突入します!

2022年9月に創立100周年を迎えるにあたり、グループスローガンである「美しい時代へ」を念頭に、支えてくださるお客さまへの感謝と次の100年の成長に向けた想いを込めた「東急グループ100周年 ロゴマーク」が誕生しました。

次号より、創立100周年を記念した誌面企画や株主さまキャンペーン等、当社グループにおいて記念すべき年を皆さまと一緒に盛り上げていきたいと考えております。

### お問い合わせ

東急株式会社 社長室 総務グループ

〒150-8511 東京都渋谷区南平台町5-6 TEL: 03-3477-6228 (平日 9:30~12:30 / 13:30~17:00)



# 東急

2021年12月



Printed in Japan